

2015年1月27日

2014年度一般入試A日程、  
W判定の国語を受験された皆様へ

神戸松蔭女子学院大学

### 昨年度実施の一般入学試験A日程の国語問題における設問の不具合についてお知らせとお詫び

2014年1月31日（金）に実施いたしました、2014年度一般入試A日程の入試問題の教科「国語」において設問文に不具合がありましたことをご報告いたします。なお、当該設問につきましては試験当日の国語の試験時間中にその不具合内容を確認し、当該設問に対しては全員に得点を与える処置をした上で合否判定を実施しておりますので、あらたに判定結果が変わることはありません。

受験生の皆様方には、多大なご迷惑をお掛けしましたこととお詫び申し上げます。

#### 記

1. 試験実施日 : 2014年1月31日（金）（一般A日程） 2時間目
2. 教科・科目名 : 国語
3. 当該科目受験者数 : A日程での国語受験者数 223人  
W判定での国語受験者数 131人
4. 当該科目の必選区分 : **【必修】** 英語学科、日本語日本文化学科、総合文芸学科、  
子ども発達学科、ファッション・ハウジングデザイン学科  
**【選択】** 心理学科、生活学科都市生活専攻、生活学科食物栄養専攻
5. ミスの箇所・内容 : 問題冊子 A-17ページ 三 問六（解答番号50）  
傍線部（オ）「何の理由もない」とあるが、作者の想定する理由からもっとも遠いものを次の中から一つ選べ。  
①常々、父親には多少高額でも立派な戒名をつけてあげたいと思っている。  
②非常に高額の治療法であるが、科学的根拠がしっかりとありと医師から聞いている。  
③新しい場所に転居した場合、地域の習慣に従う方が安心と聞かされている。  
④有名な占い師の勧める交霊の会だから、金に糸目をつけず参加する。  
⑤良いものであれば、多少高価な自動車でも購入したいと考えている。  
※設問文が不適切なものであり、想定する正答が導き出せない可能性がありました。
6. 当該問題の配点 : 3点／100点満点
7. 対応措置 : 当該設問の不具合は試験実施中に発見されました。本来であれば、試験時間中に設問文を適切な文に変更し問題訂正とすべきでしたが、試験終了時刻までに地方会場も含め全ての試験室に問題訂正を周知することが困難であると判断したため、当該設問に対しては全員に得点を与える処置をした上で合否判定を実施しました。
8. 公表にいたった経緯 : この件については、採点、合否判定をおこなう以前の扱いであり、受験生への不利益も少ないと判断し、上記の「7.」の対応措置を講じて合否判定を実施しました。また、過去問題集には当該部分を不適切問題として「設問削除」として出版しました。その後、外部からの「設問削除」の意図に対する問い合わせがあり、本措置について学内で審議をした結果、時期としては大変遅くなりましたが、この内容を公表すべきとの結論に達しました。発表が遅くなりましたこととお詫び申し上げます。

以上

本件につきましてご不明の点がございましたら、入試・広報課までお問い合わせください。